

質問の件名及び質問の要旨(質問時間)	答弁を求める者
<p>1 地方創生、地域力の向上に向けた取り組みについて (30分)</p> <p>昨年11月に、「ゆるキャラサミットin羽生」、正式名称「世界キャラクターサミットin羽生」に行きました。参加しているゆるキャラ総数430。来場者数41万人。会場は、各地のゆるキャラであふれており、その周りを多くの来場者が取り囲んでおりました。また、地域の自慢のご当地グルメコーナーや特産品コーナーにも多くの方が列を連ねており、来場者の注目を集めるために各地域のブースでご当地のPR合戦の様相を呈しておりました。このイベントは、全国的にも注目度が高く、来場者数も極めて多いことから、絶好の地域PRの場となっており、実際に行ってみて、まさに、地域間競争の縮図を見たような気がいたしました。残念なことに、鶴ヶ島市のブースはなく、つるゴンも来ておりませんでした。この影響とは思いませんが、今年度ゆるキャラグランプリ2014では、つるゴンは、929位で、昨年度の390位から大きく下がってしまいました。ゆるキャラの人気度、知名度＝市の知名度とは申しませんが、市公認ゆるキャラとして、市のPRの主役キャラでありますので、些か寂しいような気がいたします。</p> <p>安倍首相が提唱するアベノミクスの3本の矢の第3の矢である成長戦略を進めるにあたり、「景気回復が全国津々浦々で実感できるようにする」、こうした地域経済の回復、活性化に向けた取り組みが進められております。内閣の主導により「まち・ひと・しごと創生」の「長期ビジョン」が提示され、「総合戦略」が策定されました。先日の坂戸文化会館での石破地域創生大臣の言葉に「日本を元気にするためには、地方が元気にならなければならない。」「地域のことは地域にしかわからない。地域が自ら知恵を絞って、地域で実現したいことを考えてもらう。その支援をしていく。」とありました。地方地域が自立につながるよう自らが考えて、それぞれの特性に即して地域課題を解決し、責任を持って戦略を推進する。これを進めていくために、地方は「地方人口ビジョン」、「地方版総合戦略」を策定し、国の支援のもと、地方地域が、それぞれの特性、特色を活かして、活性化に取り組んでいくこととなります。</p> <p>江戸期の幕藩体制下において、各藩は自立して、特色のある地域づくりがなされてきました。そうした色合いは、現在も、地方地域のいたる所にまちの名前とともに、地域の名物や特産品など地域産</p>	市長

質問の件名及び質問の要旨(質問時間)	答弁を求める者
<p>業として、色濃く残っており、そのまち、その地域のイメージとして現在も定着しています。本市地域は、幕府直轄地、天領であった時期が長かったせいか、そうした要素が薄く、現在でも地域の特色が目立たないような気がします。</p> <p>そうした歴史背景はさて置き、地域の特色を前面に出し、地域の活性化に向けて積極的に取り組んでいるひとつの事例が、先程のゆるキャラサミットなどでの、ゆるキャラやご当地グルメ、特産品のPRなどであります。地域の特性を活かし、地域で考え、努力して、自らの地域とその特産品を売り出す。既に地域間での競争は始まっているのです。本市でも、ふるさと納税による寄附金が県だけでなく、関東地方でトップということで、そのPR戦術が大いに効果を発揮しております。こうした知名度アップを、地域の特産品、地域ブランドの創出、普及も合わせて、地域産業の活性化の観点からも、今後とも長期的な戦略に基づいて進めていただきたいところであります。</p> <p>こうしたことを踏まえて、地域戦略が問われるこれからの本市の地域創生、地域力の向上に向けた取り組みについて、以下質問いたします。</p> <p>(1) 地域PRの考え方について  (2) 6次産業化による地域ブランドについて  (3) 地域人口ビジョンの考え方について  (4) 地域版総合戦略の考え方について  (5) 地域力の向上への取り組みについて</p> <p>2 道路舗装修繕事業について(10分)</p> <p>市域全体の幹線道路の傷み具合、損傷状況等の路面性状調査を行った道路舗装修繕事業により、経年にかかわらず現状の幹線道路の路面状況が把握されたと思われます。この調査によって、今後、市内幹線道路の舗装修繕をどのように実施していくことになるのかについてお聞きします。</p> <p>(1) 今回の調査で把握された路面状況について  (2) 今後の舗装修繕について</p>	<p>市長</p>

質問の件名及び質問の要旨(質問時間)	答弁を求める者
<p data-bbox="172 327 1118 439">3 市民意識調査から見えてくる行政サービスについて (20分)</p> <p data-bbox="164 450 1126 1099">第5次鶴ヶ島市総合計画後期基本計画の策定にあたっての市民意識調査が、定住意向、住みやすさ、市のイメージ、各施策に対する満足度・重要度、施策別調査などの調査項目について、市内全域で無作為抽出による満20歳以上の市民2,000人を対象に実施されました。回収結果は、有効回答数1,031人、有効回答率51.6%でした。この調査結果の中で、住みやすさ意識調査について、「住みよい」「まあ住みよい」の住みよさを感じている市民が81.1%。定住意識調査については、「ずっと住み続けたい」「ある程度住み続けたい」の定住意向をもっておられる市民が80.6%となっており、本市が、市民にとって暮らしやすいまちであると実感されている結果が出ております。市民生活における様々な利便性、自然環境等もさることながら、市政及び行政サービスについても、細かい施策ごとの評価は別にして、総じて市民から満足されているものと認識されます。</p> <p data-bbox="164 1122 1126 1294">この市民意識調査の結果分析により、市としてどのようなことが見えてきたのか。そして、今後どのように市政、行政サービスに活かしていくのかについて、前回の私の一般質問の「将来を見据えた行財政改革について」の補足も含めて質問いたします。</p> <p data-bbox="212 1357 1098 1581"> (1) 市のイメージから見えてくるものについて  (2) 満足度・重要度調査から見えてくるものについて  (3) 施策別調査から見えてくるものについて  (4) 今後の市政、行政サービスにどのように活かしていくのかについて </p>	市長